

春の観察会 資料

もちろん、採集してきた花をスケッチするのが原則ですが、良い具合に咲いていなかったり、しおれてしまったりしたときの参考にして下さい。

射干

シャガ

あやめ科

品種改良されることもなく、原種のまま庭などに植えられ、親しまれてきた。紫と黄の対比が美しく、楚々とした風情で、茶花として用いられる。



蒲公英

タンポポ

きく科

総苞片が反り返っている外来種。実が赤茶色をしていることから、アカミタンポポと呼ばれる。



ハナミズキ ミズキ科 / 落葉高木 / アメリカ原産

アメリカヤマボウシとも呼ばれる。日本からワシントンに贈られたソメイヨシノの返礼として贈られた。近年は園芸品種も多く作られ、花色も白からピンク、赤に近いものまで様々。初夏に樹冠いっぱい咲く花や、美しい秋の実と紅葉など、1年を通して楽しめ、一般家庭でも多く植えられる。

仏の座

ホトケノザ

しそ科

茎をとり巻く二枚の葉の様子から台座（蓮華座）を連想して名づけられた。春の七草のホトケノザは別の野草で、キク科のコオニタビラコのこと。

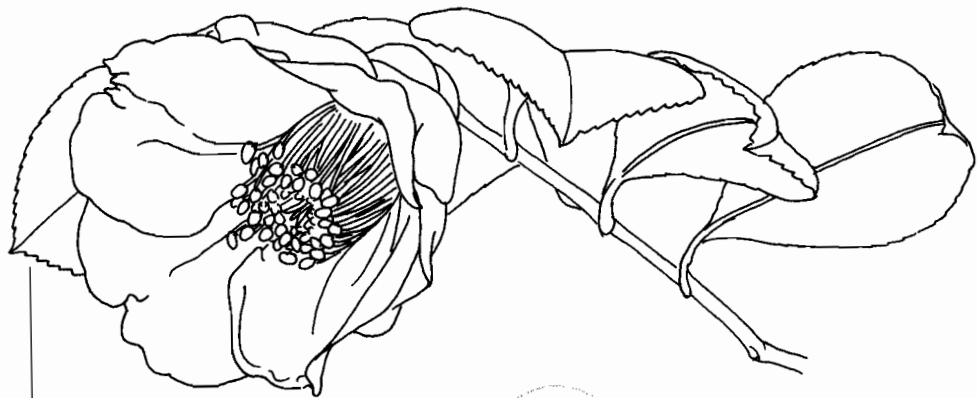


大犬の陰囊

オオイヌノフグリ

ごまのはぐさ科

ヨーロッパ原産の帰化植物。路傍や畑の畦道などによく見られる。名前は「大きな犬のふぐり=陰囊」で、可憐な花には似合わない。



椿

ツバキ

つばき科

昔から精霊の宿る木として日本人の生活に深く関わってきた。日本書紀にも、この木で作った刀杖には、仇を折伏する魔力があると伝えられる。